

2. 宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画の実現に向けた取組 (農業農村整備事業関係)

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

◆ 県政運営の理念「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」のもと、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民と共有し、その実現に向けて県が優先的・重点的に取り組むべき施策を明らかにした「宮城の将来ビジョン」に掲げる**33の取組**、及び平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害を被った本県の震災後10年間における復興の道筋を示した「宮城県震災復興実施計画」に掲げる**7分野**の事業を推進します。

①宮城の将来ビジョン

体系・基本方向・取組名	農業農村整備関係事業名
1. 富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～	
(2) 観光資源、知的資源を活用した商業・サービス産業の強化	
5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	みやぎ農山漁村交流促進事業 むらまち交流拡大推進事業
(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	
6 競争力ある農林水産業への転換	農道整備事業
(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	
11 経営力の向上と経営基盤の強化	農業経営高度化支援事業
3. 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	
(1) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	
27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	小水力等農村地域資源利活用促進事業
(2) 豊かな自然環境、生活環境の保全	
29 豊かな自然環境、生活環境の保全	みやぎの田園環境教育支援事業（非）
(3) 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	
30 住民参画型の社会資本整備の良好な景観の形成	農地整備事業（通作条件整備） 中山間地域等直接支払交付金事業 多面的機能支払事業 令和のむらづくり推進事業 県営造成施設管理体制整備促進事業 土地改良施設機能診断事業
(4) 巨大地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	
31 巨大地震に備えた施設設備や情報ネットワークの充実	海岸保全施設整備事業（農地）

注）（非）：非予算的手法を表す。

②震災復興実施計画

体系・基本方向・取組名	農業農村整備関係事業名	将来ビジョン掲載事業
(4) 農業・林業・水産業		
① 魅力ある農業・農村の再興		
1 生産基盤の復旧及び営農再開支援	東日本大震災災害復旧事業 被災農地再生支援事業 被災土地改良区復興支援事業	
2 新たな地域農業の構築に向けた生産基盤の整備	東日本大震災災害復旧事業（再掲） 農村地域復興再生基盤総合整備事業 東日本大震災復興交付金事業	
4 にぎわいのある農村への再生	みやぎ農山漁村交流促進事業 多面的機能支払事業 中山間地域等直接支払交付金事業 みやぎの農業・農村復旧復興情報発信事業	○ ○ ○

「若者があここがれ・集う 魅力ある農業・農村に」

～創造的な復興の完遂と次代に向けて～

復旧・復興ロードマップに基づく生産基盤等の復旧

東日本大震災の発生

農地・農業用施設等の復旧進捗のロードマップ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
農地(13,000ha)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
農業用施設(2,500ha)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

農地(ha)	農業用施設(ha)	農家数(人)	農業用施設(台数)
5,780ha	2,500ha	59,000人	480台
3,110ha	1,820ha	31,000人	1,130台
15,000ha	7,000ha	180,000人	14,000台

第2期 みやぎ農業農村整備基本計画 (H23～R2)

「豊かで競争力ある農業」～産業政策～
※新たな土地改良長期計画

基本項目1
競争力ある農業の持続的な発展

施策1 優良な生産基盤の確保と有効活用
①生産基盤となる農地・施設等の整備
②整備した優良農地の利用集積の促進
③農業水利施設等のストックマネジメントの推進(再掲)

令和2年度主要事業 (千円)

◆農地の大区画化・汎用化など生産基盤の整備を行うとともに、農地の集積や面的集約、高収益作物の導入等を図り、競争力のある経営体を育成します。

◆令和2年度 農地整備実施地区数 33地区(A=281.6ha)

◆計画的な競争力強化に向けた生産基盤の整備を推進するため、計画的な事業計画の調査・策定に取り組めます。

◆令和2年度 調査計画地区数 39地区(うち新築7地区)

◆東日本大震災災害復興旧事業(国直轄災)【農村】 59,000
◆東日本大震災災害復興旧事業(県営)【農業】 615,750
◆令和元年東日本台風災害復興旧事業【農村】 3,519,690
◆東日本大震災復興交付金事業【農業・農機】 3,817,029
◆農村地域復興再生基盤総合整備事業【農業】 8,954,518
◆農地・農機整備事業(受託)計画策定費【農村】 60,350
◆農業整備事業【農業】 6,616,518
◆農地中間管理機構関連農地整備事業【農業】 690,364
◆農地耕作条件改善事業【農業】 990,260
◆水利施設整備事業【農業】 972,103(再掲)
◆水利施設等保全高度化事業【農業】 1,165,500

基本項目2
農業・農村の多面的な機能の発揮

施策2 農業・農村の多面的機能の維持・発揮と県民理解の向上
①農地と水、農村景観の保全・管理
②都市と農村の交流促進
③多面的機能への県民理解の向上

◆農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に力づく地域との共同活動を支援します。

◆令和2年度 対象予定面積A=75,956ha

◆多面的機能支払事業【なり】 2,190,265
◆中山間地域等直接支払交付金事業【なり】 265,924
◆みやぎの地域資源保全活用支援事業【なり】 16,000
◆みやぎ交流拡大推進事業【なり】 5,229
◆みやぎ農山漁村交流促進事業【なり】 8,950
◆令和のむらづくり推進事業【なり】 29,650

基本項目3
農家の活性化に向けた総合的な振興

施策3 農業・農村が有する地域資源の保全・管理と活用
①農業水利施設等のストックマネジメントの推進
②再生可能エネルギーの活用

◆主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用人口
H30：1,343万人 → R2：1,600万人
◆農村の地域資源の保全活動を行った面積
H30：75,490ha → R2：85,000ha

◆農村の地域資源の保全活動を行った面積
H30：75,490ha → R2：85,000ha

◆多面的な農業水利施設の機能を維持するための施設を維持するための施設を行った施設
H30：150施設 → R2：220施設

基本項目4
農村の活性化に向けた総合的な振興

施策4 中山間地域等における農業振興と農村活性化
①地域資源を活用した農村経済の活性化

◆農村の活性化に向けた総合的な振興
H30：41,174ha → R2：41,551ha

◆農村の活性化に向けた総合的な振興
H30：41,174ha → R2：41,551ha

◆農村の活性化に向けた総合的な振興
H30：41,174ha → R2：41,551ha

令和2年度 防災重点たため池対策8か所(地区計画)

◆農村地域防災減災事業調査計画【農村】 95,640
◆たため池等整備事業(国土強靱化)【農業】 133,350
◆水利施設等整備事業(国土強靱化)【農業】 210,000
◆用排水施設等整備事業【農業】 86,100

◆多面的機能支払事業【なり】 2,190,265(再掲)
◆中山間地域等直接支払交付金事業【なり】 265,924(再掲)
◆農村総合整備事業【なり】 3,43,032

令和2年度4月 農山漁村なりわい課、農村振興課 農村整備課、農地復興推進室

将来の姿(目標指標)

○水田ほ場整備面積(20a以上)
H30: 78,258ha(71%) → R2: 79,000ha(75%)
うち大区画ほ場整備面積(50a以上)
H30: 34,916ha(32%) → R2: 34,000ha(32%)

○農地整備面積
H30: 75,490ha → R2: 85,000ha

○農地整備面積(20a以上)
H30: 78,258ha(71%) → R2: 79,000ha(75%)

○水田ほ場整備面積(20a以上)
H30: 34,916ha(32%) → R2: 34,000ha(32%)

令和2年度 農業者の減少・高齢化

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

令和2年度 農業者の減少・高齢化

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

令和2年度 農業者の減少・高齢化

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

令和2年度 農業者の減少・高齢化

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

令和2年度 農業者の減少・高齢化

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

農業生産額の推移(宮城県)

宮城県震災復興計画 分野別の復興の方向性 ((4)農業・林業・水産業)

宮城県震災復興計画

個別計画

【農業分野】
みやぎの農業・農村
復興計画

【林業分野】
みやぎ森林・林業の
震災復興プラン
～森林・林業・木材産業の
再生と飛躍に向けて～

【水産分野】
宮城県水産業復興
プラン

④ 一次産業を牽引する食産業の振興

① 魅力ある農業・農村
の再興

② 活力ある林業の再生

③ 新たな水産業の創造

1 生産基盤の復旧
及び営農再開支
援

2 新たな地域農業
の構築に向けた
生産基盤の整備

3 競争力ある農業
経営の実現

4 にぎわいのある
農村への再生

農地復旧・復興に係る基本的考え方

- 「みやぎの農業・農村復興計画」において、「農地の面的な集約・経営の大規模化・高付加価値化」を図っていくこととしており、このため、可能な限り、農地整備事業に加え、農業経営高度化促進事業等の土地利用調整等の効果的・効率的実施に資するソフト施策を適切に組合せる必要があります。
- また、営農の早期再開を目指すため、原形復旧による一時利用を行いつつ、並行して区画整理等を進めるなど、地域の実情を踏まえ、適切に推進します。
- 農地の復旧・復興に当たっては、土地改良区が本来有する土地利用調整機能を活用し、地域の合意形成を通じた地域づくりや農村コミュニティの再生に一定の役割を担うことが期待されます。